

# 趣味の広場

## 母を想う

二十三回生 佐怒賀（片山）弘子

ほしいまま陽をあそばせる大樟にもたれいる午後母の忌日の

雨に濡れツチグリ胞子噴きやまず大切な人失いし日に

時間ならここに戻ってこないよと枯露柿ころがきすだれおもおもと垂る

びりょうなる硝子質われにひそみいて水滴のような術後のからだ

はげましの言葉のほしいわれのいてセロリをコップに差しこんでいる

冬枯れのメタセコイヤの並木道ジャコメツテイの女の過ぎる

大雪たいせつにおふくろ大根みぞれ鍋世を喰う力ふつつふつと沸く

早いもので五月に母の七回忌を迎えました。

と同時に一人の女性としての生き方をしみじみと思い  
そして母への想いを強くしております